

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	49		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	00871 青少年健全育成事業	所 属 長	藤原 順二
		記 入 者	宿谷 真穂

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地方青少年問題協議会法  大津市子ども・若者プラン
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	青少年健全育成事業費	

事業の概要  
 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。  
 (1) 青少年健全育成に係る各種啓発活動 (2) 青少年育成市民会議活動への支援 (3) 大津っ子まつりの開催 (4) 中学生広場の開催

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
対象 (何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
手段 (どのようなやり方で)	青少年育成学区民会議等と連携して事業を展開し
成果 (どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		9,174	9,699	7,259	7,425	8,425	
人件費 B		16,918	17,075	13,605	14,835	14,999	
事業費合計 A+B		26,092	26,774	20,864	22,260	23,424	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	346	346	500	346	346	自治振興交付金
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	25,746	26,428	20,364	21,914	23,078	
職員数(人)		3.15	3.15	2.46	2.61	2.63	
職員数の内訳	正規	1.55	1.55	1.18	1.33	1.35	
	嘱託	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.60	0.60	1.28	1.28	1.28	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	啓発活動の回数	回	目標	1,200	1,200	1,000	1,200	1,200
				実績	1,621	1,513	1,060	-	-
	2	あいさつ運動、パトロール回数		目標					
				実績					
成果指標	1	青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	目標	61,000	61,000	61,000	40,000	61,000
				実績	71,343	75,551	27,052	-	-
	2	大津っ子まつり	人	目標	23,000	23,000	0	0	20,000
				実績	29,000	27,000	0	-	-
大津っ子まつりへの参加者数/令和 2年度は事業中止									



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	50		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	02265 子ども・若者育成支援推進事業	所 属 長	藤原 順二
		記 入 者	宿谷 真穂

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・若者育成支援推進法、子供・若者育成支援推進大綱
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		大津市子ども・若者プラン
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子ども・若者育成支援推進事業費	

**事業の概要**  
 子ども・若者総合相談窓口と子ども・若者支援地域協議会を設置し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援する体制をつくる。子ども・若者支援地域協議会において、意見交換会、研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関のスキルアップと連携を図る。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	次代を担う子ども・若者を支援するために
対象 (何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果 (どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		6,490	6,292	6,481	8,710	8,760	
人件費 B		7,549	7,625	7,727	7,727	7,727	
事業費合計 A+B		14,039	13,917	14,208	16,437	16,487	
事業費の内訳	国	0	300	15	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,039	13,617	14,193	16,437	16,487	
職員数(人)		1.15	1.15	1.13	1.13	1.13	
職員数の内訳	正規	0.85	0.85	0.83	0.83	0.83	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	

## ＜4. 指標＞ DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1 大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	目標	9	9	5	5	5	
			実績	9	8	5	-	-	
	令和2年度より代表者会議のみをカウントすることに変更								
	2 大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	目標	450	800	800	1,300	1,300	
実績			1,243	1,781	1,875	-	-		
平成29年10月1日開設									
成果指標	1 大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	目標	80	80	80	70	80	
			実績	85	80	57	-	-	
	代表者会議への出席率								
	2			目標					
実績									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成29年10月に子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会を設置。令和2年3月に「大津市子ども・若者プラン」を「大津市子ども・若者支援計画」として福祉部局と共に策定した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	子ども・若者の総合相談窓口を設置し、支援団体の統括を本市が行うことは妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	相談窓口の周知が進み、相談件数の成果目標が達成できている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	相談窓口の運営は専門のスキルを有する民間団体（社会福祉協議会）に委託しており、相談者が適切な段階に適切な制度に繋がるなど効率的な運用ができている。ただ自立に向けた施策を実施する場合には、福祉や教育等の部局との連携が必要になる。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の支援体制を充実したことにより、子ども・若者の健全育成に繋がっている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他      ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	子ども・若者総合相談窓口を含む地域協議会の各機関がスムーズに連携して当事者および家族を支援できるよう、協議と知見習得を深め、全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。また新たな生活様式に対応した相談方法や、自立に向けた効率的な他部局との連携方法等についても検討していく。
部局長コメント	次代を担う子ども・若者の社会的な自立に向け、相談窓口と支援地域協議会の各機関が連携して支援を行うとともに、新たな生活様式に合った相談方法や、他部局との効率的な連携方法等についても検討されたい。また当事者に必要な情報が届くよう、支援機関の広報の周知方法についても検討すること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	106.25 %	100.00 %	71.25 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-5.88 %	-28.75 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,559 千円	1,739 千円	2,841 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	165 千円	173 千円	249 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+5.32 %	+43.28 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	383		所属名	生涯学習課	所属長	本郷 照彦
部局名	教育委員会		記入者	平出 新		
事務事業名	00890 青少年教育推進事業					

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	青少年教育推進事業費	
事業の概要	青少年の健全育成並びに青少年活動の活性化のための事業を行う。(ユースボランティアセミナー研修会開催)				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	青少年が、若さと情熱を持って積極的、自主的にまちづくりに貢献する。
対象 (何又は誰を)	ユースボランティアセミナー参加者及び同企画委員
手段 (どのようなやり方で)	ユースボランティアセミナー研修会の開催
成果 (どのような状態にするのか)	青少年指導者の養成・育成を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	135	406	315	447	447	H29~補助事業分を社会教育関
人件費	B	4,595	4,814	4,325	2,111	2,111	係団体推進事業に統合
事業費合計 A+B		4,730	5,220	4,640	2,558	2,558	H30~子ども読書推進事業統合
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,730	5,220	4,640	2,558	2,558	
職員数(人)		0.76	0.58	0.54	0.27	0.27	
職員数の内訳	正規	0.49	0.58	0.52	0.25	0.25	
	嘱託	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.22	0.00	0.02	0.02	0.02	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)委員数	人	目標	15	15	15	15	15
				実績	15	13	13	-	-
活動指標	2	人数		目標					
				実績					
成果指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)参加者数	人	目標	40	40	20	20	20
				実績	15	45	5	-	-
成果指標	2	事業への参加者数		目標					
				実績					



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	384	
部 局 名	教育委員会	所 属 名
事務事業名	00811 成人式開催事業	生涯学習課
		所 属 長
		本郷 照彦
		記 入 者
		友田 有沙

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関連する個別計画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	成人式開催事業費	
事業の概要	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため、成人式を挙げる。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図る
対象 (何又は誰を)	平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの人
手段 (どのようなやり方で)	新成人等の意見を踏まえた成人式典の挙行
成果 (どのような状態にするのか)	新成人に「大人」になったことの自覚を促すとともに、社会の一員としての責務を再認識させる

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		5,986	6,103	8,214	9,733	9,733	
人件費 B		2,749	5,310	6,088	5,924	5,924	
事業費合計 A+B		8,735	11,413	14,302	15,657	15,657	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	8,735	11,413	14,302	15,657	15,657	
職員数(人)		0.45	0.74	0.78	0.76	0.76	
職員数の内訳	正規	0.30	0.61	0.72	0.70	0.70	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.15	0.13	0.06	0.06	0.06	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	参加者	人	目標	2,800	2,800	2,160	2,160	2,160
		実績		2,934	2,628	1,644	-	-	
		当日参加人数							
成果指標	1	参加率	%	目標	80	80	60	60	60
		実績		79.4	73	45.9	-	-	
		対象者/参加者×100							
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	厳しい財政状況のなか、経費の縮減が求められている。迷惑行為が常態化するなか、会場を含めた取り組み方法の見直しが必要である。また、新型コロナウイルスの感染状況に応じた開催方法の検討を行う必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	H23年度から経費の縮減や新成人の意見の聴取、警備体制の強化などの見直しを行っている。R2年度は新型コロナウイルス対策として2会場の分散開催とした。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	厳粛な式典形式で開催し、新成人の誓いの言葉や来賓よりお祝いの言葉を直接聞く貴重な場であり、時代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら社会の一員として参画し、自立して生きようとする意欲の高揚を図ることができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	会場参加率は45%と大幅に下がったが、来場しなくても参加できるようライブ配信を行った。また、新成人の意見を取り入れた式典となるよう新成人等の青年で構成された企画運営会議において、企画・運営行った。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	式典の開催にあたり、安全管理を徹底するため、会場や警備会社、警察との連携を図り、また、社会教育関係団体にボランティアを協力依頼するなど内容を低下させず、経費を少しでも縮減できるよう工夫している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	式典を開催することで人生の節目となり、新成人が自分自身を振り返る機会となっている。また、新成人をみんなで祝福することで、次代を担う若者の応援となり、子どもの成長を祝うことは心豊かな人づくり、地域づくりにつながる。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、成人としての高揚を図るため、今後も新成人の意見を踏まえ、厳粛な式典形式で開催する。なお、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから会場の分散や事前申し込み制等を継続するとともに、より良い手法を検討を進める。
部局長コメント	平成28年度から新成人の声を取り入れた成人式となるよう実行委員会形式で実施。飲酒対策や安全対策の充実に努めると共に分散会場で実施し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。また、20歳の青年を対象に20歳（はたち）のつどいを実施することを契機ととらえ、20歳の青年たちが本市のまちづくりの担い手となるよう発信していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	99.25 %	91.25 %	76.50 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-8.06 %	-37.12 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	2 千円	4 千円	8 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	110 千円	156 千円	311 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+42.11 %	+99.29 %



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	404	
部 局 名	教育委員会	所 属 名
事務事業名	00881 大津少年センター運営事業	所 属 長
		記 入 者

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市生涯学習センター 条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関 連 する 個 別 計 画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	00875	青少年健全育成条例運用事業（大津少年センター）		2416	少年センター
	00879	特別非行防止対策事業（大津少年センター）		2416	少年センター
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大津少年センター運営事業費	
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関と連携し、少年補導と実態把握を行なうとともに学校支援を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する支援を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の啓発を行なう。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

## < 3. 経費 > DO

	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	1,669	1,626	1,895	2,022	2,081	
人件費 B	23,698	21,821	16,476	16,476	16,476	
事業費合計 A+B	25,367	23,447	18,371	18,498	18,557	
事業費の 財源内訳	国	0	0	0	0	
	県	230	230	230	230	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
一般財源	25,137	23,217	18,141	18,268	18,327	
職員数(人)	6.74	6.61	4.03	4.03	4.03	
職員数の 内訳	正規	0.61	0.46	0.80	0.80	
	嘱託	6.13	5.40	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.75	3.23	3.23	

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
				550	500	500	497	497
1	街頭補導回数	回	目標	550	500	500	497	497
			実績	500	507	486	-	-
	街頭補導を実施した回数							
2	少年相談件数	件	目標	1,100	1,200	1,100	1,339	1,339
			実績	1,537	1,312	1,169	-	-
	相談を受理した件数							
1	補導人数（愛の声かけを含む）	人	目標	1,000	1,000	900	732	732
			実績	968	757	472	-	-
	街頭補導による補導人数（愛の声かけを含む）							
2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	25	25	25	29	29
			実績	32	26	29	-	-
	相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）							



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	405				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	少年センター	所 属 長	今井 公夫
事務事業名	00882	堅田少年センター運営事業	記 入 者	中澤 豊	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	北部地域文化センター条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関連する個別計画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00876	青少年健全育成条例運用事業（堅田少年センター）	2416	少年センター
	00880	特別非行防止対策事業（堅田少年センター）	2416	少年センター

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	堅田少年センター運営事業費	

事業の概要  
 青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動等を推進する。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関と連携し、少年補導と実態把握を行なうとともに学校支援を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する支援を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の啓発を行なう。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		793	843	958	1,079	1,029	
人件費 B		8,376	7,053	13,135	13,135	13,135	
事業費合計 A+B		9,169	7,896	14,093	14,214	14,164	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	148	230	230	230	230	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,021	7,666	13,863	13,984	13,934	
職員数(人)		2.51	2.11	3.56	3.56	3.56	
職員数の内訳	正規	0.14	0.11	0.43	0.43	0.43	
	嘱託	2.37	2.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	3.13	3.13	3.13	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	街頭補導回数	回	目標	280	250	250	301	301
				実績	296	256	352	-	-
	街頭補導を実施した回数								
	2	少年相談件数	件	目標	300	300	300	465	465
実績				463	542	392	-	-	
相談を受理した件数									
成果指標	1	補導人数（愛の声かけを含む）	人	目標	600	600	600	1,235	1,235
				実績	1,244	1,531	932	-	-
	街頭補導による補導人数（愛の声かけを含む）								
	2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	10	10	10	15	15
実績				15	15	17	-	-	
相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）									

